

2024 年度事業報告書

自 2024 年 12 月 1 日

至 2025 年 11 月 30 日

【目的及び事業】 定款 第 2 章第 3 条・第 4 条より

(目的)

第 3 条 当法人は、空間ディスプレイ分野を志す学生、研究者および研究機関等を支援することを通して空間ディスプレイに対する理解の啓発と浸透、空間ディスプレイによる社会貢献の可能性を広げ、もって、経済、産業ならびに文化の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第 4 条 当法人は、前条の目的を達するため、次の事業を行う。

- ① 日本国内の大学生に対する奨学金の給付事業
- ② 空間ディスプレイに関する研究者および研究機関等に対する研究助成事業
- ③ 空間ディスプレイに関する表彰事業
- ④ その他当法人の目的を達成するために必要な事業

I. 事業の状況

1. 奨学金支給事業

名称：NCF 奨学金事業

(1) 募集

① 募集対象

奨学金制度の趣旨（「奨学生募集要項」より以下抜粋）に則り、財団指定大学から推薦を受けた新入学生を対象とした。

（抜粋）乃村文化財団は、空間デザイン、ディスプレイデザイン、環境デザイン、建築デザイン、情報デザインなどディスプレイに関わる領域全体を広く空間ディスプレイ分野と捉えて、リアルからバーチャルへと未来に向かって進化する新たなディスプレイを見据え、空間ディスプレイ分野を志す学生および研究者を支援し社会貢献の可能性を広げることにより、経済、産業ならびに文化の発展に寄与することを目的とする。

② 応募時期

2024 年 9 月 1 日～2025 年 5 月 15 日

③ 応募件数

3 大学 6 名

④ 選考経過

2025 年 4 月 25 日以降、5 大学辞退のため再募集の結果、3 大学 6 名の応募があ

り、財団事務局選考を経て、同年5月21日、財団奨学金事業選考委員会による選考が行われ、6名が採択された。

同年7月1日、財団理事会・評議員会が開催され、6名の採用が承認された。

(2) 採用

奨学生の採用人数（2025年4月入学）および奨学金給付

① 採用 3大学6名採用。（以下内訳）

芝浦工業大学 2名

多摩美術大学 2名

東京造形大学 2名

② 給付金 1名あたり85万円（以下内訳）

一律月額5万円、入学一時金25万円

継続の場合 2年生～4年生 年間60万円（月額5万円×12か月）給付予定。

(3) 授与

2025年7月1日、奨学金給付認定書の授与式が執り行われた。学業優先のため欠席となった奨学生は、メッセージを寄せ参加した。

(4) 次回募集開始

対象 2026年4月入学生

募集開始 2025年9月より財団ホームページにおいて、次年度の奨学生募集要項の公開を開始した。

2. 助成金支給事業

名称：NCF助成金事業

(1) 募集

① 募集対象

助成金制度の趣旨（「助成金事業募集要項」より以下抜粋）に則り、当財団が示す空間ディスプレイ分野の研究を志す大学の研究室および当財団が示す空間ディスプレイ分野および関連の教育普及事業(博物館展示を含む)を行う、学会・博物館を対象とした。

（抜粋）乃村文化財団は、空間デザイン、ディスプレイデザイン、環境デザイン、建築デザイン、情報デザインなどディスプレイに関わる領域全体を広く空間ディスプレイ分野と捉えて、リアルからバーチャルへと未来に向かって進化する新たなディスプレイを見据え、空間ディスプレイ分野を志す学生および研究者を支援し社会貢献の可能性を広げることにより、経済、産業ならびに文化の発展に寄与することを目的とする。

② 募集開始

2024年4月、助成金事業募集要項を財団ホームページにて掲載

同年 5 月、募集要項チラシを全国の科学系博物館約 150 か所に送付

同年 9 月、全国の工学、建築、デザイン関連大学約 120 か所に送付

③ 応募時期

2024 年 11 月 25 日、エントリー〆切

同年 12 月 6 日、応募〆切

④ 応募件数

エントリー件数 12 件うち 12 件応募

⑤ 選考経過

2024 年 12 月 6 日以降、財団事務局にてとりまとめ、2025 年 1 月 22 日、財団助成金事業選考委員会による選考が行われ、5 件が採択された。

同年 2 月 12 日、財団理事会・評議員会が開催され、5 件の採用が承認された。

(2) 採用

採用件数 5 件

助成金額 採用件数 5 件のうち 4 件 100 万円、1 件 66 万円、合計 466 万円

■研究助成

Gr1-2501

テーマ：重層的イマーシブ手法を用いた新たな建築模型展示手法の開発

研究機関：京都工芸繊維大学大学院建築学専攻建築論研究室

担当者：朽木順綱（教授） 代表責任者：阪田弘一（学系長）

支給額：1,000,000 円

Gr1-2503

テーマ：ミュージアムの収蔵展示の空間ディスプレイ上の特性に関する日韓比較研究

研究機関：金沢学院大学 芸術学部芸術学科 加藤謙一研究室

担当者：加藤謙一（准教授） 代表責任者：秋山稔（学長）

支給額：660,000 円

■教育普及活動助成

Gr 2 -250 3

テーマ：アートマルシェ 2025

研究機関：公益財団法人練馬区文化振興協会/練馬区立美術館

担当者：伊東正伸（練馬区立美術館 館長） 代表責任者：小金井靖（代表理事）

支給額：1,000,000 円

Gr 2 -250 4

テーマ：オソトを楽しむ博物館『そとはく』におけるポップアップ展示空間によるセミナーの実施

研究機関：兵庫県立人と自然の博物館

担当者：福本 優(研究員) 代表責任者：村上哲明(館長)

支給額：1,000,000 円

Gr 2 -250 6

テーマ：空間展示 音と光のシンクロニシティ 命の螺旋

研究機関：貝塚市立自然遊学館

担当者：天満和久(博士研究員) 代表責任者：秋山芳樹(館長)

支給額：1,000,000 円

(3) 授 与

2024年7月2日、助成金給付認定書の授与式が執り行われた。授与式に出席した4件の代表4名に財団理事長より認定書が授与された。

(4) 次回募集開始

- ① 対 象 活動期間 2026年4月～2027年3月の研究及び教育普及活動
- ② 募集開始 2025年7月より財団ホームページにおいて、次年度の助成金事業募集要項の公開を開始した。
- ③ エントリー締切 2025年11月5日
- ④ 応募受付期間 2025年11月5日～11月11日

3. 表彰事業

名称：学生卒業設計・制作 NCF 空間ディスプレイアワード

(1) 募 集

① 募集対象

日本全国に所在する大学の2025年3月卒業予定者の卒業設計・制作作品で、空間ディスプレイに関わるものを対象に募集を開始した。

② 募集開始

2024年9月より 表彰事業募集要項を財団ホームページに掲載

③ 応募時期

2025年3月15日 エントリー締切

同年 4月 1日 応募締切

④ 応募件数

35 件

⑤ 選考経過

2025 年 5 月 21 日、財団表彰事業選考委員会にて、最優秀賞 2 作品、優秀賞 3 作品、奨励賞 4 作品の受賞が内定し、同年 7 月 1 日、財団理事会・評議員会にて承認された。

(2) 採用

最優秀賞	2 作品	各 10 万円
優秀賞	3 作品	各 5 万円
奨励賞	4 作品	各 3 万円

【受賞者名・作品名等】

1. 最優秀賞 2 件 賞金 各 10 万円

(1) AW2537 我は拡張する、故に我々は在る

福田羽和（フクタハワ） 大同大学工学部建築学科

(2) AW2539 工場を穿つ -味噌の伝統をアーカイブする新しい工場建築の在り方-

河崎充紘（カワサキミヒロ） 東京電機大学未来科学部建築学科

2. 優秀賞 3 件 賞金 各 5 万円

(1) AW2502 輪島市復興計画 -代謝する建築-

佐々木 菜摘美（ササキナツミ） 京都女子大学家政学部生活造形学科

(2) AW2534 騒音から奏音へ-住工混在地域における音風景の提案-

杉山玲那（スギヤマレナ） 大同大学工学部建築学科

(3) AW2546 海のある埼玉-更地にしない雑居街区再生-

林 芽生（ハヤシウブ） 東京電機大学未来科学部建築学科

3. 奨励賞 4 件 賞金 各 3 万円

(1) AW2533 都市の劇場-仮想境界による狭間の改修-

小木曾 力斗（コギソリキト） 大同大学工学部建築学科

(2) AW2535 25.1km に暮らす-地域鉄道駅再編計画-

西尾 晟（ニシオセイ） 大同大学工学部建築学科

(3) AW2536 海と記憶の間隙-黒島集落における海を取り戻す時層的建築-

中村來珠（ナカムラクルミ） 大同大学工学部建築学科

(4) AW2541 商いの向こう側

西村 風香（ニシムラフウカ） 東京電機大学未来科学部建築学科

(3) 授 与

2025年7月1日、表彰状の授与式が執り行われた。授与式には、受賞した9作品9名全員が出席し、財団専務理事より表彰状が授与され、同年7月30日、受賞者へ賞金が授与された。

(4) 次回募集開始

- ① 対 象 2026年3月卒業生の卒業設計制作作品
- ② 募集開始 2025年7月より財団ホームページにおいて、次年度の表彰事業募集要項の公開を開始
- ③ エントリー締切 2026年3月13日
- ④ 応募受付期間 2026年3月13日～4月1日

4. 助成金および表彰事業の広報活動

2024年5月から9月にかけて、財団ホームページに募集要項を順次公開し、各事業チラシの配布を行った。助成金事業チラシ配布件数は、全国博物館約150件、助成金事業チラシ及び表彰事業チラシ配布件数は、全国大学約130件。更に、公益財団法人日本博物館協会 HP および日本ミュージアム・マネジメント学会 (JMMA) HP への募集概要掲載など外部団体を通じて広報活動をおこなった。

以上